

2019年度電気技術者資質向上事業の実施結果

2020年3月31日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施した。

2019年度の事業実施結果は、次のとおり

1. 経過

2019年4月1日(月)～10月31日(木)の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の9件の申請があった。

・2019年5月15日(水)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員からの意見聴取」により
次の1件の採択が適当とされた。

- ① 「第19回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」
(北海道工業高等学校長会)

・2019年5月30日(木)

「電気技術者資質向上アドバイザー委員からの意見聴取」により
次の3件の採択が適当とされた。

- ① 「2019年度 高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」
(高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門実行委員会)
- ② 高校生ものづくりコンテスト2019東北大会【秋田大会】
(東北地区工業高等学校長会)
- ③ 第19回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門)
(近畿地区電気教育研究会)

・2019年8月5日(月)

「2019年度第1回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催し、
次の4件の採択が適当とされた。

- ① 「令和元年度 第18回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト東京大会 兼
第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
- ② 「第26回配電工事安全技能競技会」 (北陸電気工事組合連合会)
- ③ 「第35回引込および内線工事技能オリンピック大会」 (中部電気工事協力会連合会)
- ④ 「第51回全九州技能競技大会」 (一般社団法人全九州電気工事業協会)

・2019年11月26日（火）

「電気技術者資質向上アドバイザー委員からの意見聴取」により
次の1件の採択が適当とされた。

① 「第19回高校生ものづくりコンテスト 全国大会（近畿大会）電気工事部門」
（第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会（近畿大会）電気工事部門競技実行委員会）

2. 支援対象事業の実施結果

申請のあった9事業のうち8事業が実施され、1事業は中止となった。

(1) 実施事業

① 「第19回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」
（北海道工業高等学校長会）

2019年5月17日（金）に実施 表1参照

② 「2019年度 高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門」
（高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門実行委員会）

2019年6月15日（土）に実施 表2参照

③ 高校生ものづくりコンテスト2019東北大会【秋田大会】
（東北地区工業高等学校長会）

2019年7月28日（日）に実施 表3参照

④ 第19回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）
（近畿地区電気教育研究会）

2019年8月6日（火）に実施 表4参照

⑤ 「令和元年度 第18回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト東京大会
兼 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会」
（関東甲信越地区電気教育研究会）

2019年8月24日（土）に実施 表5参照

⑥ 「第35回引込および内線工事技能オリンピック大会」 （中部電気工事協力会連合会）
2019年11月7日（木）に実施 表6参照

⑦ 「第19回高校生ものづくりコンテスト 全国大会（近畿大会）電気工事部門」
（第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会（近畿大会）電気工事部門競技実行委員会）

2019年11月17日（日）に実施 表7参照

⑧ 「第51回全九州技能競技大会」 （一般社団法人全九州電気工事業協会）

2019年11月30日（土）に実施 表8参照

(2) 中止事業

①「第26回配電工事安全技能競技会」 (北陸電気工事組合連合会)

台風15号による東京への非常災害対応により開催を中止

3. その他

令和2年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

| 項 目 | 内 容 |
|-------|---|
| 支援事業名 | 第19回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門 |
| 目 的 | 全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。 |
| 実施期間 | ・2019年5月16日(木)～17日(金) (競技実施は17日) |
| 開催場所 | ・北海道札幌工業高等学校 電気計測実習室 |
| 主 催 | 北海道工業高等学校長会 北海道高等学校工業クラブ連盟 |
| 後 援 | 北海道教育委員会 北海道産業教育振興会、 北海道の工業教育を推進する会 一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | ①大会競技の開催方法 平成13年度から継続して実施し、今年度で19回目となる。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会会員校に在籍している工業科の生徒で全日制、定時制各1名。 ③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,800×横1,800の作業パネルに与えられた材料で施工を行う。 ④審査方法 北海道電力(株)送配電カンパニー札幌支店職員及び札幌電気工事業協同組合組合員による審査 ⑤表彰 最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞3名 |
| 参加者数 | ・競技選手:9名 ・審査員: 6名 ・事務局: 22名 ・その他: 6名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、設営・運営費等の一部277千円を支援した。 |
| その他 | 試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与 |

表 1

「第 19 回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門」

(北海道工業高等学校長会)

実施日：2019年5月17日(金)



表 2

| 項 目 | 内 容 |
|-------|--|
| 支援事業名 | 2019年度 高校生ものづくりコンテスト 中国地区大会 電気工事部門 |
| 目 的 | 中国5県の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習で積み上げた技術・技能を競い合う場として、中国地区大会を開催する。中国地区大会での上位入賞者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及び「若年者ものづくり競技大会」に出場させ、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。 |
| 実施期間 | ・2019年6月15日(土) |
| 開催場所 | ・山口県立下関工科高等学校 新実習南棟1階ものづくり実習室 |
| 主 催 | 山口県高等学校工業教育研究会 |
| 後 援 | 山口県産業教育振興会、一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | <p>①大会競技の開催方法 1年に1回、開催している。令和元年度で14回を数え、今後も継続した事業の実施が計画されている。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会会員校に在籍している工業科の生徒で全日制、定時制に所属。</p> <p>③競技方法・競技内容 縦1,800×横1,800の作業パネルに与えられた屋内配線図と材料で電気工事の施工を行う。</p> <p>④審査方法 (株)中電工職員、山口県電気工事工業組合員による審査</p> <p>⑤表彰 1位、2位、3位</p> |
| 参加者数 | <ul style="list-style-type: none"> ・競技選手: 12名 ・審査員: 4名 ・事務局: 14名 ・その他: 48名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、材料費等の一部140千円を支援した。 |
| その他 | 試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与 |

表 2

2019年度 高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門

(高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門実行委員会)

実施日： 2019年6月15日(土)



表 3

| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| 支援事業名 | 高校生ものづくりコンテスト2019東北大会【秋田大会】 |
| 目的 | 東北地区の工業系高校に在籍する生徒の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図ることを目的としている。 |
| 実施期間 | ・2019年7月27日(土)～28日(日) (競技実施は28日) |
| 開催場所 | 秋田県立秋田工業高等学校 |
| 主催 | 東北地区工業高等学校長会 |
| 後援 | 秋田県教育委員会 (株)ユアテック 秋田県産業教育振興会 一般社団法人日本電気協会東北支部 一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | <p>①大会競技の開催方法 平成13年の第1回高校生ものづくりコンテスト全国大会「電気工事部門」から参加を続けており、東北エリアの代表権を得るための大会を年1回実施している。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 東北6県において県の代表権を取った選手6名と開催県枠1名の計7名。</p> <p>③競技方法・競技内容 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:140分 「競技規則」に従い、電気設備を想定した配線工事を行う。</p> <p>④審査方法 日本電気協会東北支部へ審判を依頼 審査の基本的観点・採点方法 ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰 1位、2位、3位</p> |
| 参加者数 | ・競技選手:7名 ・審査員:10名 ・事務局:19名 ・その他:44名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、会場費等の一部318千円を支援した。 |
| その他 | 試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与 |

表 3

高校生ものづくりコンテスト2019東北大会【秋田大会】

(東北地区工業高等学校長会)

実施日：2019年7月28日(日)



表 4

| 項 目 | 内 容 |
|-------|---|
| 支援事業名 | 第19回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(電気系部門) |
| 目 的 | 大会を通して工業高等学校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技術・技能の向上を図るとともに、今後の電気・電子教育の資質向上を目指す。 |
| 実施期間 | ・2019年8月5日(月)～6日(火) (競技実施は6日) |
| 開催場所 | ・兵庫県立尼崎工業高等学校 |
| 主 催 | 近畿地区電気教育研究会 |
| 後 援 | 近畿工業高等学校長協会 兵庫県教育委員会 一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | <p>①大会競技の開催方法 全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、1年に一度の、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会(高校生ものづくりコンテスト全国大会)を企画し、過去18回実施した。 全国大会への近畿地区代表選手の選考会である。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 近畿各府県の工業を学習する高校生で予選会を実施し、各府県代表の7選手で近畿大会を行い全国大会出場代表選手を決定する選考会である。</p> <p>③競技方法・競技内容 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:140分 「施工図」、「施工条件」、「電灯展開図」に示す配線工事を行う。</p> <p>④審査方法 (株)きんでん、(一社)兵庫県電業協会の技術指導員及び工業系高校電気工事指導教員による審査 審査の基本的観点・採点方法 ・関係法令等に適合した施工方法であること。 ・美観を含めた施工状況であること。 ・安全作業、作業態度に注意して施工していること。 ・工事未完成、施工条件違反は審査対象外とする。 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格 ・各項目ごとの減点方式で採点して減点の少ない者から上位とする。</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p> |
| 参加者数 | ・競技選手:7名 ・審査員:15名 ・事務局:16名 ・その他:60名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、材料費等の一部196千円を支援した。 |
| その他 | 試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与 |

表 4

第 19 回高校生ものづくりコンテスト近畿大会（電気系部門）

（近畿地区電気教育研究会）

実施日：2019年8月6日（火）



表 5

| 項 目 | 内 容 |
|-------|---|
| 支援事業名 | 令和元年度第18回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト東京大会 兼 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門 関東予選会 |
| 目 的 | 電気系学科の生徒を対象に、電気工事コンテストを行うことにより電気工事の基礎応用の技術向上を図るとともに、電気技術者の育成を図る。 |
| 実施期間 | ・2019年8月24日(土) |
| 開催場所 | 東京都立城東職業能力開発センター |
| 主 催 | 関東甲信越地区電気教育研究会 |
| 後 援 | 関東地区工業高等学校長会、東京都教育委員会、 株式会社関電工、一般社団法人東京電業協会 一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | <p>①大会競技の開催方法 関東地区1都7県、持ち回りで毎年開催</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 関東甲信越地区電気教育研究会加盟校に在籍し、各都県において推薦された生徒2名(学年は問わない)</p> <p>③競技方法・競技内容 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会課題に準じて設定(1名で作業) 競技時間:120分 概ね縦1,820×横1,820の垂直パネルに課題図に示す低圧屋内配線工事を想定した材料を使用し、施工条件に従って完成させる。</p> <p>④審査方法 (株)関電工に委嘱し審査 審査の基本的観点・採点方法 ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目ごとの減点方式 ・審査対象は、すべての工事が完成しているもの ・工事未完成のものは審査対象外 ・点灯試験の結果、不点灯、短絡したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝、準優勝、3位</p> |
| 参加者数 | ・競技参加者:16名 ・審査員: 11名 ・事務局: 50名 ・その他: 50名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、材料費等の一部225千円を支援した。 |
| その他 | 試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与 |

表5

令和元年度 第18回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト東京大会
兼 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会

(関東甲信越地区電気教育研究会)

実施日：2019年8月24日(土)



表 6

| 項 目 | 内 容 |
|-------|--|
| 支援事業名 | 第35回引込および内線工事技能オリンピック大会 |
| 目 的 | 技能オリンピック大会を通じ、所属会員の電気工事技術並びに技能の向上を図り電気設備における公共保安の確保と、お客さまサービスの向上に資する。 |
| 実施期間 | ・2019年11月7日(木) |
| 開催場所 | 中部電力(株)人財開発センター配電研修所内線実習館 |
| 主 催 | 中部電気工事協力会連合会 |
| 後 援 | 中部電力株式会社 |
| 協 賛 | 一般財団法人中部電気保安協会 公益社団法人日本電気技術者協会中部支部 電気安全中部委員会・電気新聞中部総局 一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | ①大会競技の開催方法 隔年開催で、開催エリアは愛知県・岐阜県・三重県・長野県・静岡県(西部) ②参加選手の構成及び参加資格要件等 協力会員又はその従業員であって、第一種又は第二種電気工事士である者 ③競技方法・競技内容 1. 実技 引込、需給装置及び屋内・屋側配線に関する工事とし、施工証明書のお客さまへの引渡しについても対象組作業にて1時間50分程度で仕上げる。 2. 学科 第2種電気工事士として必要な施工技術・技能に直結した問題を30分で解答する。 ④審査方法 中部電力(株)検査担当職員による審査 ⑤表彰 総合1～6位のチーム：中部電力(株)賞 総合1位のチーム：電気新聞中部総局賞 実技1～3位のチーム：(一財)中部電気保安協会賞 安全1～3位のチーム：(公社)日本電気技術者協会中部支部霜寿賞 学科1～5位：電気安全中部委員会賞 |
| 参加者数 | ・競技参加者：36名 ・審査員： 56名 ・事務局： 6名 ・その他： 357名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、材料費の一部等698千円を支援 |

表 6

第 3 5 回 引込および内線工事技能オリンピック大会

(中部電気工事協力会連合会)

実施日：2019年11月7日(木)

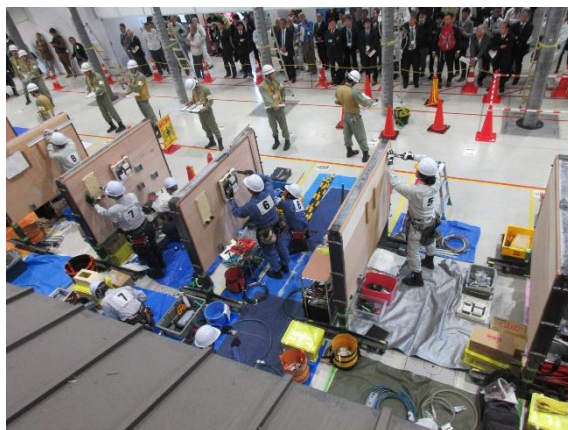


表 7

| 項 目 | 内 容 |
|-------|--|
| 支援事業名 | 第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 |
| 目 的 | 全国の各工業高等学校で取り組んでいるものづくりの電気工事分野において、日々の学習や練習などで積み上げた技術・技能を競い合う場として、全国大会を開催する。そして、産業及び電気保安に関する技術・技能水準の向上と知識の習得により、若年技術・技能者の育成を図る。 |
| 実施期間 | ・令和元年11月16日(土)～17日(日) |
| 開催場所 | ・兵庫県立尼崎工業高等学校 体育館 |
| 主催 | 公益財団法人全国工業高等学校長協会 |
| 後援 | 文部科学省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 京都市 大阪市 堺市 岸和田市 神戸市 尼崎市 滋賀県教育委員会 京都府教育委員会 大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会 奈良県教育委員会 和歌山県教育委員会 京都市教育委員会 大阪市教育委員会 堺市教育委員会 岸和田市教育委員会 神戸市教育委員会 尼崎市教育委員会 公益財団法人産業教育振興中央会、公益財団法人日本自動車教育振興財団、 中央職業能力開発協会 一般財団法人 電気技術者試験センター |
| 実施内容 | ①大会競技の開催方法 平生13年度から継続して実施され、令和元年度で19回を迎え、今後も継続した事業の 実施予定である。 ②参加選手の構成及び参加資格要件等 全国工業高等学校長協会が組織する全国9ブロック及び開催地の公聴会から推薦 された 生徒とする。 ③競技方法・競技内容 屋内配線の課題を概ね縦1,820×横1,820の作業パネルに与えられた材料で 電気工事の施工を行う。 ④審査方法 (株)きんでん2名、(一社)兵庫県電業協会2名 ⑤表彰 1位、2位、3位 |
| 参加者数 | ・競技参加者:10名 ・審査員: 14名 ・事務局: 48名 ・その他: 100名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、設営・運営費の一部等329千円を支援 |
| その他 | 試験センターより、特別賞として上位2名に賞状、副賞を授与 |

表7

第19回高校生ものづくりコンテスト 全国大会（近畿大会）電気工事部門

（第19回高校生ものづくりコンテスト全国大会（近畿大会）電気工事部門競技実行委員会）

実施日： 2019年11月17日（日）



表 8

| 項 目 | 内 容 |
|-------|--|
| 支援事業名 | 第51回全九州技能競技大会 |
| 目 的 | 沖縄を含む九州8県の電気工事業工業組合から選抜された選手にオブザーバー参加の学生を加え、技術・技能を競い合い、安心生活と電気安全を支える技術技能水準の向上、及び若年技術者の育成を図り、電気工事業の発展を期す。 |
| 実施期間 | ・2019年11月29日(金)(筆記競技)、30日(土)(技能競技) |
| 開催場所 | ・宮崎県立産業技術専門校 |
| 主催 | 一般社団法人全九州電気工事業協会 |
| 後援 | 経済産業省九州産業保安監督部 |
| 協賛 | 九州電力株式会社、沖縄電力株式会社、一般財団法人九州電気保安協会 東芝ライテック株式会社、東芝電材マーケティング株式会社 株式会社白十字安全、全日本電気工事業工業組合連合会 一般財団法人電気技術者試験センター |
| 実施内容 | <p>①大会競技の開催方法 平成27年までは毎年、沖縄を含む九州各県持ち回りで開催地として大会運営に当たる。以降は隔年開催として、今年の大会は宮崎県で実施した。</p> <p>②参加選手の構成及び参加資格要件等 (一社)全九州電気工事業協会の会員である各県電気工事業工業組合の所属員にて予選会を実施し、各県より選抜された2名(福岡は4名)の代表と開催県より推薦された学生2名をオープン参加として開催した。</p> <p>③競技方法・競技内容 筆記競技: 第二種電気工事士筆記試験の出題レベル相当の問題を出題。 試験時間30分 技能競技: 全九州技能競技大会実行委員会において定めた課題並びに競技指示に基づき、安全で正確な施工を行う。 競技時間150分</p> <p>④審査方法 審査委員は当協会委員の2名(電気工事の実務経験を有した者)による通電試験並びに技術基準違反等について確認を行い、その後に公平性を期すため外部の審査委員(九州産業保安監督部、九州電力株)、(一財)九州電気保安協会、東芝ライテック株)の技術者4名により、審査基準に基づき審査を実施。 (審査の基本的視点・採点方法) ・保安面から見た施工状況 ・美観を含めた施工技術 ・安全作業、作業態度 ・欠陥項目毎の減点方式 ・審査対象は、全ての工事(作業)が完成しているもの ・工事未完成のものは、審査対象外 ・通電試験の結果、不点灯、短絡したもの、また、技術基準に違反したものは失格</p> <p>⑤表彰 優勝1名、準優勝2名、入賞6名</p> |
| 参加者数 | ・競技参加者: 20名 ・審査員: 4名 ・事務局: 48名 ・その他: 65名 |
| 支援の内容 | 開催経費のうち、旅費・交通費等の一部等966千円を支援 |

表 8

第 5 1 回全九州技能競技大会

(一般社団法人全九州電気工事業協会)

実施日：2019年11月30日(土)

